

	今年度取り組む重点的な課題と目標	目標を達成するための活動方針・計画	活動の成果・振り返り
①	<p><b>テーマ：日常生活に様々な問題を抱える高齢者の早期発見の仕組みづくり</b></p> <p>【課題・背景】 多摩市の中では高齢化率が高い地域であり、独居高齢者や高齢のみ世帯も多い。生活問題が重度化してから介入ケースが増加している傾向がある。 また、昨年度の民生委員へ実施したアンケート結果より、コロナ禍の影響により体力・気力の低下に不安がある高齢者の報告や、認知機能の低下した高齢者やご家族への対応方法についての質問を受けた実態がある。</p> <p>【目標】 民生委員、見守り相談窓口と連携強化を図り、見守りの仕組み作りを行う (関係機関を対象とした早期発見の仕組みづくり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上半期に民生委員と見守り相談窓口、2層生活支援コーディネーターとの会議を実施</li> <li>・地域課題会議や民生委員連絡会を開催し、民生委員、見守り相談窓口から現状を確認</li> <li>・地域包括見守り名簿の情報共有と活用の検討</li> <li>・介護予防の視点で早期に通いの場につなげる連携体制の構築（第2層生活支援コーディネーターを交えた地域ケア会議の開催）</li> </ul>	

	今年度取り組む重点的な課題と目標	目標を達成するための活動方針・計画	活動の成果・振り返り
②	<p><b>テーマ：認知症の早期発見と地域で支え合う仕組みづくり</b></p> <p>【課題・背景】 判断能力が著しく低下し生活支障が生じてから介入する高齢者や軽度認知症の高齢者も増加している。 認知症等により判断能力が低下しても慣れ親しんだ地域で在宅生活を続けていくには、共生社会の実現が課題である。「ちょっとした住民同士の手助け」「お互い様の精神」「誰もが当事者となりうる」ことをキーワードに早期発見と地域で支え合う仕組みづくりが必要である。</p> <p>【目標】 認知症の早期発見と互助の仕組みづくり (地域住民を対象とした早期発見の仕組みづくり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街のイベントに合わせて認知症に関するブースを設置し、認知症理解の啓発と早期発見の機会とする。</li> <li>・第2層生活支援コーディネーターと連携し、とよよん、こぶし館、サロン等での出張相談会や講座等を開催し、互助の仕組みづくりを協議する。</li> </ul>	

## 令和4年度 中部地域包括支援センター活動方針・計画

令和4年度地域包括支援センターの運営方針に基づき、下記のとおり計画を策定する。

### 総合相談支援業務

多摩市では高齢化率が高い地域であり、独居高齢者や高齢のみ世帯も多い。生活問題が重度化してから介入ケースが増加している傾向があり、独居や高齢者世帯、認知症高齢者が増加している担当地域の特性を踏まえ、民生委員、見守り相談窓口と連携強化を図り、日常生活に様々な問題を抱える高齢者の早期発見の仕組みづくりを考える。その中で、見守り名簿の活用についても協議する。

#### <必須項目>

【項目】 地域特性に応じたテーマを設定した民生委員連絡会の開催 <small style="text-align: right;">市設定目標の根拠：テーマを設定した連絡会を1回開催（地域課題会議と兼用開催可）</small>	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> （テーマ：日常生活に様々な問題を抱える高齢者の早期発見の仕組みづくり） エリア：上半期に開催 ＊担当地区民生委員に確認し、エリア合同開催も検討する。	1回 <small>（市方針目標値 1回）</small>	回

#### <任意項目>

【項目】 出張相談会の開催	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> （テーマ：フレイルや認知症の早期発見と心身機能が低下しても慣れ親しんだ地域で在宅生活を続けることができるような、共生社会の実現に向けた働きかけ） ・「とよよん」、こぶし館、サロン等出張相談会を開催する	4回	

### 権利擁護業務・虐待防止・消費者被害

権利擁護・虐待防止・消費者被害について住民・介護保険事業所等に対応の必要性について啓発していく。

#### <必須項目>

【項目】 権利擁護業務・虐待防止・消費者被害に関する勉強会開催数 市設定目安の根拠：上下半期に1回	目標値	実績
【実施手段】 ・権利擁護センター・法律家・消費生活センター等と連携し開催。包括単独で関りのあるサロン、認知症カフェなど馴染みの関係の中で日常生活に結びついた例を挙げ、理解しやすく啓発活動を実施する。 ・気づきの目としての機能について具体的に説明し、地域住民・ケアマネジャー向けに啓発活動をコロナウイルスの感染拡大防止対策を取った開催やオンラインを活用する。	2件 (市方針目安 2件)	件

#### <任意項目>

【項目】 啓発用パンフレット、チラシ、研修プレゼン用データの作成	目標値	実績
【実施手段】 ・地域住民、ケアマネジャー等、対象に合わせ啓発が進むよう作成する。	1件	

**介護予防ケアマネジメント業務(第1号介護予防支援事業)**

自立支援に即した、適切なケアマネジメントプロセスで、適切なアセスメントを行い、根拠を持ってサービス選択を行う。

＜必須項目＞

<p>【項目】 通所型短期集中予防サービス(元気塾)利用人数</p> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績と高齢者人口を基に算出</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p>【実施手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気塾の機能について、冊子を活用して正確に住民に伝える</li> <li>・元気塾見学会の案内を積極的に活用する</li> </ul>	<p>20人</p> <p>(市方針目標 25人)</p>	<p>人</p>

<p>【項目】 通所型短期集中予防サービス(元気塾)から地域介護予防教室等の地域活動につなぐ人数</p> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:利用者の7割を想定</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p>【実施手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気塾卒業時(終了時)のサービス担当者会議で、住民自らが介護予防の意識を維持して、継続的な取り組みが出来るように、地域活動や通場について情報提供を行う。</li> <li>・日常的に関係機関と連携し地域活動の情報収集を行う。</li> </ul>	<p>14人</p> <p>(市方針目標値 17人)</p>	<p>人</p>

<p>【項目】 住民主体による訪問型サービス利用人数</p> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績と高齢者人口を基に算出</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p>【実施手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体による訪問型サービスについて、適切なアセスメントに基づき対象者を選定し、正確に住民へ説明する</li> <li>・各事業所の実態を把握し、事業所内で共有する。</li> <li>・元気な高齢者・住民に「生活サポーター」もついで啓発する。</li> </ul>	<p>15人</p> <p>(市方針目標値 29人)</p>	<p>人</p>

<b>【項目】</b> 地域包括支援センター主催による介護予防教室等の開催 <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠: コロナ禍の現状や実績から算出(市様式の報告書を提出)</p>	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 担当エリア内のとよよん、ネコサポ、サロン等地域住民の集いの場を活用し、開催する。	2回 <small>(市方針目標値 2回)</small>	回

<b>【項目】</b> 元気塾リハビリテーション専門職訪問同行支援の利用 <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠: 実績から算出</p>	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> フレイル状態や受診に繋がっておらず、リハビリ専門職の介入がなく生活困難が生じている高齢者の自立支援に向けた支援を図るべく積極的に利用する。	5回 <small>(市方針目標値 5回)</small>	回

<b>【項目】</b> 介護予防給付において特定のサービス事業所に偏らない <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠: 他市参考値</p>	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 介護予防ケアプランの作成に当たっては、適切にサービスが選択できるよう、地域のサービス事業者等の支援内容、利用料等の情報を利用者及びその家族にお知らせし、サービスの選択を支援します。	占有率 50%未満	%

<b>【項目】</b> 居宅支援事業所に委託する際は特定の事業所に偏らない <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠: 他市参考値</p>	目標値	実績
<b>【実施手段】</b> 事業所内職員が委託事業所、依頼件数は、独自に作成したチェックリストを活用し、偏らないように調整を図る。	占有率 40%未満	%

<任意項目>

【項目】事業所での介護保険制度、ケアマネジメントについて内部研修開催	目標値	実績
【実施手段】 ・介護保険制度改正内容や、ケアマネジメントプロセスを基に適正なケアマネジメントとは何かというテーマについて、主マネを中心に、正しく理解できるよう内部研修を行う。	3回	回

**包括的・継続的ケアマネジメント業務**

「地域包括ケアシステム」の構築を推進する為、介護支援専門員と協力し、課題解決に向けた地域ケア会議を開催する。

<必須項目>

<p><b>【項目】</b> 支援困難事例等に対する居宅介護支援事業所支援ケース数</p> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績から算出</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p><b>【実施手段】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のケアマネジャーからの相談があれば共に考え、同行訪問や共同支援していく。その為にも、日常的にコミュニケーションを取り、話しやすい関係構築に努める。</li> <li>・中部包括主催の交流会等で居宅介護支援事業所に困難ケースがあれば相談を、とアナウンスしていく。</li> </ul>	<p>5件</p> <p>(市方針目標値 5件)</p>	<p>件</p>

<p><b>【項目】</b> 地域ケア会議個別ケース会議・地域課題会議</p> <p style="text-align: right;">市設定目標の根拠:実績から算出</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p><b>【実施手段】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別・地域の課題を確認した際は地域ケア会議を積極的に活用する</li> <li>・中部包括主催の交流会等で居宅介護支援事業所にアナウンスする</li> <li>・民生委員連絡会で地域課題会議を開催する</li> </ul>	<p>個別 5件 地域 1件</p> <p>(市方針目標値 個別 5件地域1件)</p>	<p>件 件</p>

<任意項目>

<p><b>【項目】</b> 多摩市の居宅介護支援事業所に対しケアマネ交流会を開催する</p>	<p>目標値</p>	<p>実績</p>
<p><b>【実施手段】</b></p> <p>ケアマネジャー業務に有益な情報提供の場を提供し中部包括との更なる関係性構築を図る</p>	<p>3件</p>	<p></p>

## 認知症高齢者への支援

認知症になってもできるだけ住み慣れた地域で過ごせるよう、地域住民や商店へ認知症の理解や見守りについて、普及啓発していく。関係機関と連携体制作りを図る。

### < 必須項目 >

<b>【項目】徘徊高齢者等認知症支援に関する個別地域ケア会議の開催件数</b> <small>市設定目標の根拠:年間1件開催。実績から算出</small>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> 安心して地域の中で、行動できるよう道に迷う可能性のあるケースについてケアマネジャーにも呼びかけ、会議を開催することで地域の見守りや支え合いの体制を作る。	1件 <small>(市方針目標値 1件)</small>	件

<b>【項目】認知症講座(認知症サポーター養成講座、その他認知症講座)の実施件数</b> <small>※カウント対象・前年度に実施していない団体への講座(認知症サポーター養成講座、その他認知症講座)          ・対象ごとに適切なテーマを設定して実施した講座(その他認知症講座)          市設定目標の根拠:令和4年度多摩市認知症施策に準ずる</small>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> 商店街や地域住民に向け、認知症の基礎知識・住民の支え合い等をテーマとした講座、相談会を行う。	2回 <small>(市方針目標値 2回)</small>	回

### < 任意項目 >

<b>【項目】</b>	<b>目標値</b>	<b>実績</b>
<b>【実施手段】</b> 商店街のイベントで認知症に関するブースを設置し、「ちょっと話してみよう」と思える場を設定する。	1回	